

# 桐の特徴

## ● 軽くて軟らかい桐

桐は、収納家具の素材として非常にすぐれています。桐材の特徴は、木肌が上品で美しく、軽くて軟らかいことです。持ち運びや取扱いに便利なうえ、手ざわりもやさしく、ささくれないので、なかの衣類を傷めることありません。作る上でも加工がしやすいという良さがあります。また、古い箆筒もカナで削り直せば新品同様。一度作れば三代はもつといわれる所以です。

## ● 狂いや割れが少ない

桐材は、断面がちょうど発砲スチロールのようで、いったん乾燥すると細胞の中は乾いた空気だけとなり、狂いや割れが非常に少な

いのです。その上、湿気を吸いにくいという性質を持つているので、収縮率が少なく抽斗などもびったりサイズで作れます。そのため箆筒の内部の気密性が高いへん高くなり、一つの抽斗を押すと、他の抽斗も動いたりするのです。

## ● 成長が早い

桐は国産の木の中で最も成長が早く、樹令三十年の杉や松の太さになるのに七、八年あれば充分です。それで昔は、女の子が生まれたら桐の木を植え、お嫁に行く時にその桐を使って箆筒にして持たせたという話が伝えられています。

また、桐は極端な乾燥地、排水不良地、アルカリ性土壌でない限り栽培でき、農作物には不向きなやせた土地や造林成績が悪い土地が、桐の適地であることからたのしい木材資源といえます。